

化学研究所は、「化学関連分野の深化・連携を基軸とする先端・学際グローバル研究拠点」として、平成30年11月13日より国際共同利用・共同研究拠点活動を推進しています。拠点活動として、第I期・第II期共同利用・共同研究拠点活動で培ってこられた研究分野の広がりや深さならびに国内外での連携実績を基盤とし、その国際的ハブ機能を活用し、国際共同利用・共同研究の一層の促進、国際学術ネットワークの充実、国際的視野をもつ

若手研究者の育成に取り組んでいます。2023年度は国際共同利用・共同研究を引き続き推進するため、2022年度と同程度の71件(国際率48%)の研究課題を国際枠として採用しました。また、多くの研究者に議論の場を提供する国際会議・シンポジウム/研究会開催や、グローバルな最先端研究・教育と国際連携を支える研究者の育成・開拓をめざした若手海外派遣・受入事業を行っています。

国際会議

2023 $\frac{06}{04}$ - $\frac{06}{09}$

10th Pacific Symposium on Radical Chemistry (PSRC-10)



主催機関：第10回環太平洋ラジカル化学会議組織委員会

開催場所：京都大学宇治キャンパス おうばくプラザ

世話人：山子 茂

参加者数：186名

コロナ禍で制限されていた人の行き来が解除されたことを受け、18か国から計186名の研究者が集い、ウェブでの講演1件を除き、シンポジウム全体を対面で実施できました。環太平洋地区のみならず世界の有機ラジカル化学の発展と、この分野の人々の相互交流を促進する本シンポジウムの目的を無事に達成したものと考えています。これも京都大学化学研究所国際共同利用・共同研究拠点をはじめとする各所の援助によるものです。厚く御礼を申し上げます。

ワークショップ

2023 $\frac{06}{05}$

The 1st Kyoto-SKKU Workshop



主催機関：京都大学化学研究所

開催場所：京都大学宇治キャンパス 共同研究棟大セミナー室

世話人：若宮 淳志

参加者数：35名

韓国 成均館大学 Sungkyunkwan University (SKKU)から PARK Nam-Gyu教授(SKKU エネルギー科学技術研究所 所長)らが来所され、ワークショップを開催しました。そのオープニングにて成均館大学 エネルギー科学技術研究所と化学研究所は部局間学術交流協定(MOU)を締結しました。Workshopでは国内の他大学から共同研究者も参加し、化学研究所の国際共同利用・共同研究課題に採択されているペロブスカイト太陽電池の開発研究に関する講演や所内ラボ見学などが行われました。



若手研究者国際短期派遣事業・若手研究者国際短期受入事業

国際共同利用・共同研究拠点では、グローバルな最先端研究・教育と国際連携を支える研究者の育成・開拓をめざし、化学研究所に所属する若手研究者の国際短期派遣、ならびに、化学研究所教員をホストとする海外若手研究者の短期受入を

柔軟かつ機動的に支援しています。コロナ禍が落ち着き、以前のような交流が戻りつつあり、2023年は既に2名の国際短期派遣(アメリカへ)および4名の国際短期受入(中国・オランダ・台湾より)を支援しました。